

山梨県の農林水産業の概要

特徴・取組

山梨県の総面積は4,465km²で、その約78%を森林が占め、周囲は急峻な山々に囲まれ、農地は総面積の約5%である。

気候は、夏と冬、また1日のうちでも昼夜の気温較差が大きく、降水量は少なく日照時間が長い内陸性気候で、このような特性を生かした農業が展開されている。

山梨県の産業構造をみると、全国と比較して第2次産業の割合が高い。特に製造業では、生産用機械や精密機器、飲食料品（ミネラルウォーターやワイン等）、地場産業である貴金属装身具の出荷額は国内トップクラスとなっている。

耕地面積2万3,000haのうち、田は7,540ha、畑は1万5,500haで、耕地面積のうち樹園地が9,830ha（4割）を占めている。

果樹を中心に、野菜、畜産、水稲、花きなど、様々な品目が生産されており、中でも生産額の最も大きい果樹は、もも、ぶどう、すももの収穫量が全国1位である。

また、果実はアジア地域を中心に輸出されており、令和5年の果実輸出額は19億8,000万円となっている。

山梨県では、農業振興の基本指針となる「やまなし農業基本計画」を策定し、生産者の更なる所得向上を実現するため、以下の2つの目標と次の5つの柱に分類した施策に関係機関と一体となって取り組んでいる。

- I 農畜水産物のブランド価値の向上
 - 1 生産・流通・販売の三位一体の高度化
 - 2 戦略的ブランドプロモーションの展開
- II 生産基盤の更なる強化
 - 3 明日の農業・農村を担う人財づくり
 - 4 農村地域の保全と基盤整備
 - 5 防災・減災対策による農村の強靱化

主な農林水産物

ぶどう

栽培の歴史は日本で最も古く、約1,300年前からとも言われる。収穫量は全国の約2割を占め、香港等に輸出している。（収穫量全国1位）



もも

恵まれた日照の中で色づくももは、甘く食感もすぐれている。収穫量は全国の約3割を占め、香港等に輸出している。（収穫量全国1位）



すもも

大玉で高糖度の「貴陽（きょう）」が注目されている。収穫量は全国の約3割を占める。（収穫量全国1位）



おうとう

高級感漂う初夏の果物で、5月上旬から観光農園でもぎ取りが楽しめる。（収穫量全国3位）



肉用牛

豊かな自然の中で肥育され、高品質の黒毛和種は、甲州牛としてブランド化されている。



米

中北地域を中心として、南アルプスやハケ岳などの山々の豊かな水と、長い日照時間の恩恵を受けて生産されている。



スイートコーン

5月の平坦地でのハウス栽培から、8月の高冷地栽培まで長期にわたり出荷されている。（収穫量全国5位）



クレソン

豊富な水を利用した栽培により、周年出荷されている。（収穫量全国1位）



にじます（養殖）

豊富で清澄な天然水を利用した淡水魚の養殖が行われている。（収穫量全国2位）



洋ラン類（鉢もの類）

長い日照時間や標高差を生かして栽培が行われ各地に出荷されている。（出荷量全国5位）



山梨県内の各地域における農林水産物

中北（ちゅうほく）地域

【農畜産物】 水稻、ぶどう、もも、すもも、おうとう、かき、スイートコーン、きゅうり、トマト、なす、いちご、さといも（やはたいも）、洋ラン類、うめ、大根、干し柿、肉用牛、乳用牛（生乳）、豚、鶏（鶏卵）

【林産物】 生しいたけ、薪

峡東（きょうとう）地域

【農産物】 ぶどう、もも、すもも、おうとう、かき、なす、スイートコーン、いちご、きゅうり、ほうれんそう、洋ラン類、干し柿

峡南（きょうなん）地域

【農産物】 茶、スイートコーン、なす、大豆、えだまめ、ユズ（柚）、キウイフルーツ、にんじん（大塚にんじん）

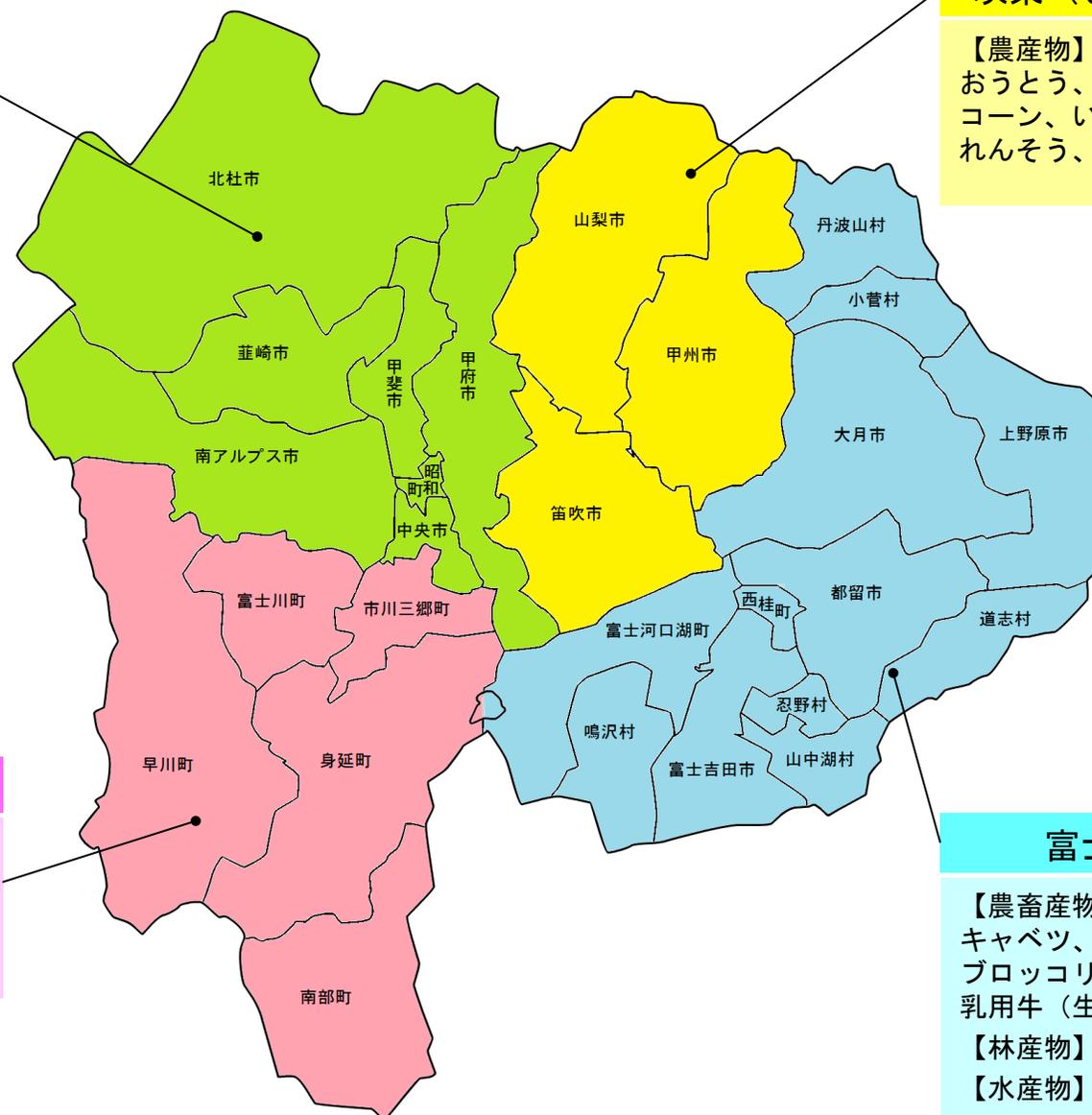
【林産物】 たけのこ、竹炭

富士・東部地域

【農畜産物】 スイートコーン、キャベツ、クレソン、ばれいしょ、ブロッコリー、花き（鉢もの類）、乳用牛（生乳）

【林産物】 わさび（根茎）

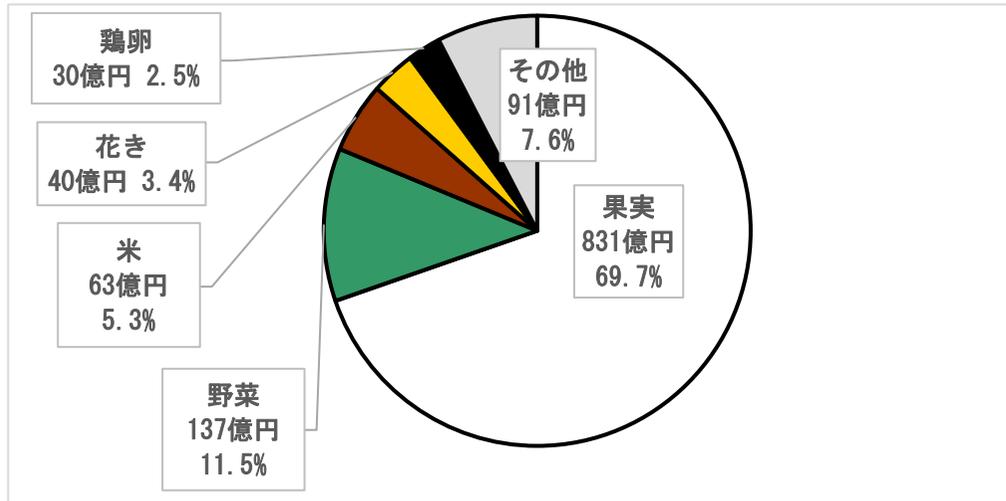
【水産物】 にじます（養殖）



山 梨 県 の 農 業 (1)

- ・ 農業産出額は1,192億円で全国30位。うち米が63億円 (5.3%)、野菜が137億円 (11.5%)、畜産が91億円 (7.6%)。
- ・ 農畜産物の生産状況は、ぶどう、もも、すもも、クレソンが全国1位、おうとう、ネクタリンが3位、うめ、干し柿が4位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分	年次	山 梨 県	全 国	全国順位
ぶどう	収穫量	R6 43,600 t	164,600 t	1
もも	収穫量	R6 31,500 t	109,700 t	1
すもも	収穫量	R6 5,090 t	16,400 t	1
おうとう	収穫量	R6 468 t	11,500 t	3
うめ	収穫量	R6 1,210 t	51,600 t	4
スイートコーン	収穫量	R5 8,270 t	212,400 t	5
クレソン	収穫量	R4 245 t	373 t	1 *
洋ラン類 (鉢もの)	出荷量	R5 683 千鉢	11,400 千鉢	5
ネクタリン	収穫量	R4 206 t	1,009 t	3
干し柿	生産量	R4 329 t	6,960 t	4

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

区 分	山梨県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	1,192 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	30
米	63 億円 (5.3)	15,193 億円 (16.0)	42
麦類	0 億円	678 億円	29 *
雑穀	0 億円	77 億円	25
豆類	1 億円	572 億円	36
いも類	3 億円	2,301 億円	41
野菜	137 億円 (11.5)	23,243 億円 (24.5)	38
果実	831 億円 (69.7)	9,590 億円 (10.1)	3
花き	40 億円	3,522 億円	29
工芸農作物	1 億円	1,467 億円	40
その他作物	18 億円	585 億円	7 *
畜産	91 億円 (7.6)	37,212 億円 (39.2)	42
肉用牛	16 億円	7,696 億円	40
乳用牛	25 億円	9,249 億円	39
生乳	23 億円	8,310 億円	39
豚	9 億円	7,194 億円	41
鶏	41 億円	12,033 億円	41
鶏卵	30 億円	7,413 億円	37
ブロイラー	10 億円	4,471 億円	35 *
その他畜産物	1 億円	1,041 億円	33
加工農産物	6 億円	513 億円	16

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

山梨県の農業（2）

- ・耕地面積は2万3,000haで全国43位。うち田が7,540ha、畑が1万5,500ha。
- ・農業経営体数は1万4,970経営体で全国33位。うち法人経営体が268経営体で42位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は2,306経営体で全国28位。うち法人数が286法人で37位。
- ・農業生産関連事業は、観光農園の年間販売（売上）金額が29億円で全国1位、経営体数は530経営体で1位。

耕地面積

区分	山梨県	全国	全国順位
耕地面積	23,000 ha	4,272,000 ha	43
田	7,540 ha	2,319,000 ha	44
畑	15,500 ha	1,952,000 ha	25
普通畑	4,810 ha	1,118,000 ha	34
樹園地	9,830 ha	248,600 ha	8
牧草地	857 ha	585,900 ha	18
参考) 総土地面積	4,465.27 km ²	377,975.68 km ²	32.00

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」
(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	山梨県	全国	全国順位
荒廃農地面積	6,473 ha	256,676 ha	17

出典：「令和5年度の荒廃農地面積(令和6年3月31日現在)」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区分	山梨県	全国	全国順位
農業経営体数	14,970 経営体	1,075,705 経営体	33
法人経営体	268 経営体	30,707 経営体	42
総農家数	27,986 戸	1,747,079 戸	30
販売農家	14,178 戸	1,027,892 戸	33
参考) 世帯総数	338,853 世帯	55,830,154 世帯	41
集落営農数	5 集落営農	13,998 集落営農	45

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和6年集落営農実態調査結果(令和6年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	山梨県	全国	全国順位
担い手への集積面積	6,662 ha	2,593,345 ha	43
集積率	28.8 %	60.4 %	38

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和5年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	山梨県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	20,500 人	1,363,038 人	29
男	11,730 人	822,144 人	30
女	8,770 人	540,894 人	27
65歳以上	15,171 人	948,621 人	30
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	74.0 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	2,306 経営体	216,784 経営体	28
法人数	286 法人	29,128 法人	37
参考) 人口総数	809,974 人	126,146,099 人	42

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	山梨県	全国	全国順位	
農産加工	総額	34,429 百万円	999,786 百万円	10
	事業体数	510 事業体	27,760 事業体	23
農産物直売所	総額	17,076 百万円	1,126,420 百万円	31
	事業体数	730 事業体	21,240 事業体	8
観光農園	総額	2,892 百万円	37,281 百万円	1
	経営体数	530 経営体	5,050 経営体	1
農家民宿	総額	82 百万円	5,352 百万円	17 *
	経営体数	10 経営体	1,140 経営体	26
農家レストラン	総額	633 百万円	39,434 百万円	25 *
	事業体数	20 事業体	1,360 事業体	21

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

山 梨 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は17.3億円で全国41位。うち木材生産が12.1億円、栽培きのご類生産が5.0億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国35位、あかまつ・くろまつ、ひらたけが全国6位、わさび根茎が7位。

林業産出額

区 分	山 梨 県	全 国	全国順位
林業産出額	17.3 億円	5,562.5 億円	41
木材生産	12.1 億円	3,257.0 億円	38
栽培きのご類生産	5.0 億円	2,199.2 億円	40

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	山 梨 県	全 国	全国順位
素材生産量	127 千m ³	20,647 千m ³	35
針葉樹	99 千m ³	18,926 千m ³	35 *
あかまつ・くろまつ	17 千m ³	494 千m ³	6
ひのき	10 千m ³	3,180 千m ³	29 *
広葉樹	28 千m ³	1,721 千m ³	12 *
ひらたけ	生産量 67 t	4,372 t	6 *
なめこ	生産量 44 t	23,752 t	18 *
わさび根茎	生産量 3 t	356 t	7 *
木質粒状燃料	生産量 1,698 t	158,646 t	15 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	山 梨 県	全 国	全国順位
林野面積	349,331 ha	24,770,201 ha	26
国有林	6,474 ha	7,153,338 ha	45
民有林	342,857 ha	17,616,863 ha	22
人工林面積	153,383 ha	10,133,111 ha	29

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	山 梨 県	全 国	全国順位
製材工場数	18 工場	3,749 工場	44
製材用素材の入荷があった工場数	18 工場	3,722 工場	44
国産材のみ	18 工場	3,116 工場	43
国産材と輸入材	- 工場	511 工場	-

出典：「令和5年木材統計」

林業経営体数

区 分	山 梨 県	全 国	全国順位
林業経営体数	153 経営体	34,001 経営体	41
法人経営体	60 経営体	4,093 経営体	27

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

山 梨 県 の 漁 業

・水産物の生産状況は、内水面漁業のわかさが全国6位、内水面養殖業のにじますが2位。

漁業産出額

区 分	山 梨 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	- 億円	15,265 億円	-
海面漁業	- 億円	9,534 億円	-
海面養殖業	- 億円	5,731 億円	-

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	山 梨 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	0 経営体	65,662 経営体	-
内水面漁業経営体数	68 経営体	4,076 経営体	20

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	山 梨 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	0 人	121,389 人	-
男	0 人	109,757 人	-
女	0 人	11,632 人	-

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	山 梨 県	全 国	全国順位
漁船隻数	0 隻	109,283 隻	-
動力漁船	0 隻	58,906 隻	-

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	山 梨 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	… t	3,777,921 t	- *
海面漁業漁獲量	… t	2,926,411 t	-
海面養殖業収獲量	… t	851,509 t	- *
内水面漁業・養殖業生産量	965 t	51,908 t	12 *
内水面漁業漁獲量	3 t	21,567 t	34 *
わかさが	3 t	585 t	6 *
内水面養殖業収獲量	962 t	30,341 t	8 *
にじます	627 t	4,734 t	2 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	山 梨 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	- 百万円	179,159 百万円	- *
	事業体数	- 事業体	1,220 事業体	-
水産物直売所	総額	- 百万円	34,988 百万円	- *
	事業体数	- 事業体	810 事業体	-
漁家民宿	総額	- 百万円	5,389 百万円	- *
	経営体数	- 経営体	540 経営体	-
漁家レストラン	総額	- 百万円	13,249 百万円	- *
	事業体数	- 事業体	380 事業体	-

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

山梨県の農林水産業の話題等（1）

おいしい未来へ やまなし

山梨県は「おいしい未来へ やまなし」をキャッチフレーズに農畜水産物をPRしている。

山梨県では、農業・畜産業・水産業のそれぞれの分野で「おいしい未来」を育むために、さまざまな取組を行っている。

品質の高い農畜水産物づくりはもちろん、食の安全安心やSDGsに貢献する取組など、これからも進化を続けていく。



【対象となる農畜水産物】

- 1 農畜水産物等に対する検査、基準等を満たしているもの
次の検査基準などを満たすもの
・山梨県青果物標準出荷規格（果樹、野菜）・農産物検査法の農産物検査規格（米穀、大豆など）
県ブランド銘柄などの基準を満たすもの
・甲州牛 ・甲州ワインビーフ ・甲州地どり ・甲州富士桜ポーク ・やまなしジビエ
・富士の介 ・甲斐サーモンレッド ・甲斐サーモン ・クリスマスエリカ
- 2 優れた取組が認められた生産者の生産物
共進会や農業賞などで受賞した生産者の生産物
・山梨県果樹共進会 ・山梨県野菜共進会 ・山梨県肉畜鶏卵共進会 ・山梨県花き品評会 など
次の事業などの取組により生産された加工品、農畜水産物
・美味しい甲斐開発プロジェクト ・やまなし農福連携
- 3 特別な生産方法や取組により生産された農畜水産物など
・4パーミル・イニシアチブ……地球温暖化対策につながる取組
・アニマルウェルフェア……家畜のストレスや疾病を減らす取組
・GAP……食品の安全性向上、環境の保全、労働安全の確保につながる取組
・甲斐のこだわり環境農産物……化学肥料、化学合成農薬を3割以上削減
・有機JAS……化学肥料、化学合成農薬不使用、遺伝子組換え技術を未使用
・甲斐路の認証食品……県産農産物を主原料として県内で生産される加工食品等
・特別栽培農産物……化学肥料の窒素分量、節減対象農薬の使用回数いずれも5割以上削減



4パーミル・イニシアチブ
農業分野から脱炭素社会の実現をめざす取組み



富士の介
日本で唯一、キングサーモンの血を引くオリジナル魚



アニマルウェルフェア
家畜が健康的で快適に生活できるように配慮する取組み



やまなしジビエ
衛生的に処理加工された、安全安心なシカ肉

山梨県の農林水産業の話題等（2）

令和5年山梨県農業生産額 3年連続1,100億円台

山梨県の令和5年の農業生産額は、1,167億5,400万円となった。
前年と比べ、28億6,700万円の増加となっており、3年連続で1,100億円台に到達した。このうち果樹の生産額は711億3,900万円と過去最高額となった令和4年をわずかに下回ったものの、711億円を超え、過去2番目の数字となった。
今後も、品質及び生産性の向上のため、データ農業技術の開発や普及、篤農家の匠の技の見える化などに取り組むとともに、県産農畜水産物等のブランド価値の向上を図るため、デジタルとリアルを組み合わせた効果的なプロモーションを展開していく。



世界農業遺産「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム」の 保全と活用に向けた取組（令和4年7月認定）

峡東地域では、扇状地特有の傾斜や起伏、土壌などの異なる自然条件や多雨・湿潤な気象条件に適応するため、効率的で独特な土地利用が行われてきた。適地・適作により、ブドウやモモをはじめとする多種多様な果樹を栽培する地域であり、卓越した栽培技術のある生産者が芸術品とも言える世界トップレベルの品質の果実を生産し収益性の高い農業経営を実現している。

果樹農業は、枯露（ころ）柿やワイン醸造などの果実加工、約120年前に始まったとされる観光果実園などとともに発展し、多様な文化・祭事とともに世界に誇る特色ある地域を形成している。

これらを永続的に保全し、その魅力を地域内外に浸透させるため、県と峡東3市が連携し、様々な取り組みを展開している。

【主な取り組み】

- ・住民向けに甲州式ブドウの棚掛けワークショップや石積みワークショップ、生物多様性観察会を開催
- ・子ども向けに副読本や動画を活用した農業遺産学習会を開催
- ・峡東地域世界農業遺産フェスティバルの開催



「春らんまん」
第1回やまなし農村風景写真コンクール知事賞作品